

別紙 1

任命理由

地方独立行政法人市立大津市民病院（以下「市民病院」という。）は、平成 29 年 4 月から地方独立行政法人としての歩みを始め、第 2 期中期目標期間（令和 3 年度から 6 年度までの 4 年間）において、「信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康・医療拠点」の病院理念のもと、第 2 期中期計画に掲げる取組を進める一方で、コロナ禍にあって滋賀県で唯一の第一種感染症指定医療機関として保健医療圏域を越え、多くの重症患者の命を救ってまいりました。

河内明宏氏は、平成 25 年から滋賀医科大学の教授として医師の人材育成や研究など長く滋賀県内の医療に携わり、令和 4 年 10 月に市民病院理事長に就任してからは、「地域とともに歩む病院」を目指し、職員の先頭に立って、法人と病院の運営にあたるとともに、自身の専門である泌尿器科医としてもご尽力されました。

また、市民病院が地域包括ケアシステムの深化へ対応することが求められている中、地域の医療機関との連携をシームレスに行う地域医療連携支援センターや訪問診療実施医療機関を専門領域で支援する在宅診療センターを速やかに開設するなど地域や患者のニーズに沿ったきめ細かな医療の提供に取り組んでいることを評価するとともに、これからも持続可能な病院経営に手腕を発揮していただくことを期待して、あらためて理事長として任命するものです。